

感染対策だより

院内感染対策委員会発行：第 75 号 令和 6 年 11 月

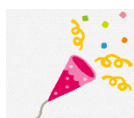
手洗い選手権を開催しました

10月15日（火）は世界手洗いデーです。この機会に今一度、手指消毒・手洗いの大切さを見直し、正しい方法を再確認していただくことを目的に院内手洗い選手権を実施しました。

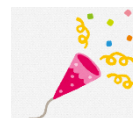
今回は全職種の中から各部署代表 22 名が参加し、筆記試験・手洗い・手指消毒について競い合いました。

上位 6 名の方を発表します。

順位	部署	氏名
1 位	資材課	畑中 奈菜さん
2 位	ICU/HD	鶴留 瞳さん
3 位	臨床工学部	福田 琴乃さん
4 位	医局秘書課	田畑 望さん
5 位	DM/RA センター	野口 早由里さん
6 位	外来	豊村 美妃さん



おめでとうございます



～入賞者の方よりコメントをいただきました～



第1位 資材課 畑中奈菜さん

意識して手洗いをしていたら結果が出るんだなと自分自身驚いています。
引き続き気を付けていきたいと思います。



第2位 ICU/HD 鶴留瞳さん

透析室は複数の患者さんと触れあったり、血液暴露のリスクも高いところ
なので手指消毒は厳しく指導していただきました。それが身に付いていた
のかなとうれしく感じております。



第3位 臨床工学部 福田琴乃さん

優勝には程遠かったのですが、手洗いは患者さんの為でもあり自分の身を守る
ためでもあると思うので、まだチャレンジしていきたいと思います。

筆記試験について

手洗い選手権では実技だけではなく、筆記試験も行っています。特に不正解が多かった
手指消毒と流水と石鹸での手洗いについてご説明したいと思います。

流水と石鹸による手洗いは一過性の微生物を $1/100 \sim 1/300$ までに減らすのに対し、
手指消毒による消毒では $1/3000 \sim 1/10000$ まで減らすことが出来るため、
手指消毒を使って消毒する方が殺菌効果は高いです。

擦式アルコール手指用消毒薬による手指消毒と 石けんと流水による手洗いの違い

擦式アルコール手指消毒薬による手指消毒が基本

- ほとんどの微生物数(ウイルスを含む)を除去できる
- 短時間(20～30秒)で効果を得ることができる
- 手荒れしにくい

ただし、以下の場合は石けんと流水による手洗いが必要

- 手指に目に見える汚染がある場合
- 嘔吐・下痢のある患者に触れた/その病室から出た直後
- アルコール消毒薬に抵抗性がある微生物が想定される場合
ノロウイルス、ロタウイルス、セレウス菌、
クロストリジオイデス(クロストリジウム)・ディフィシル
など)

日本環境感染学会「手指衛生」

※手荒れでお困りの方へ

手荒れには「細菌が定着しやすい」「角層バリア機能が低下する」などの問題点があります。
そこで、佐世保中央病院で採用しているハンドローションをご紹介します。

KEY722805 プライムバリアヴェール（バリア A ローションから変更になりました）

使用方法

使用頻度(目安)

- 約4時間おきに(業務開始前、休憩後など)
- 約10回の手指消毒ごとに
- 石けんでの手洗いの前に

※手肌の状態や作業内容に応じて、こまめに塗布してください。



皮膚刺激性テスト(パッチテスト)済み(すべての方に皮膚刺激が発生しないということではありません)



KEY724437 プライムローション無香タイプ

手洗い・手指消毒の合間のハンドケアにご使用いただけます。
手洗い→プライムローション→消毒の手順がおすすめです。





筆記試験



蛍光クリームを手指消毒に見立てて



蛍光クリームを手指消毒のつもりで塗り込みます



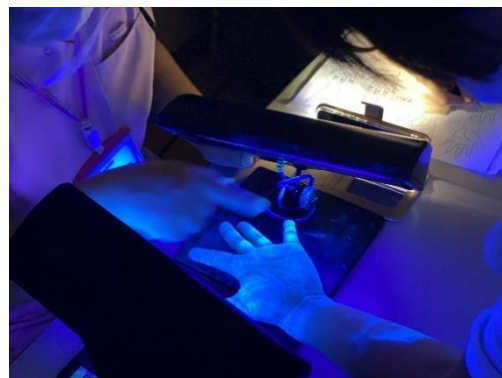
塗りのこしがないかチェック

院内感染対策委員会にて表彰式が行われ、上位入賞者6名には賞状と副賞が授与されました。

入賞者の方、おめでとうございます。また、惜しくも入賞できなかった参加者の皆様もお疲れ様でした。次年度以降のリベンジお待ちしております!!



入念な手洗い



洗い残しのチェック



手洗い後洗い残しチェック



第1位の表彰